

◆Aブロック1回戦

(七回コールド)
田貴一 澤山

霧 中田貴—澤山
連 武田—前田
▽一塁打 武田、田嶋、
手塚 連、中田貴 霧



【△フロック1回戦、釧路連合―霧多布】初回
右前2点適時打を放つ白糠（連合）の伊藤

①	霧多	布田	打	安	振	球
②	中	賣	3	2	0	0
③	君	塚	2	0	0	0
④	橋	本	2	0	2	0
⑤	川	村	3	0	1	0
⑥	澤	山	3	0	2	0
⑦	中	田	2	0	1	0
⑧	奥	倉	2	0	0	0
⑨	太	谷	2	0	1	0
⑩	佐	田	2	0	0	0
犠	盗	夕	2	0	1	0
⑪	路	三	2	2	0	0
⑫	前	合	2	0	9	0
⑬	通	連	2	安	振	球
⑭	前	田	4	0	1	0
⑮	武	田	1	2	0	0
⑯	大	田	2	0	1	0
⑰	伊	澤	1	2	0	0
⑱	手	藤	2	1	0	0
⑲	松	塚	1	0	3	0
⑳	田	井	0	0	2	0
㉑	清	嶋	1	0	1	0
㉒	本	間	0	0	0	0
㉓	失	2	0	0	0	0
㉔	回	5	2	9	8	2
㉕	〇	者	10	安	振	貴
㉖	投	中	32	10	8	4
㉗	中					
㉘						
㉙						
㉚						
㉛						
㉜						
㉝						
㉞						
㉟						
㊱						
㊲						
㊳						
㊴						
㊵						
㊶						
㊷						
㊸						
㊹						
㊺						
㊻						
㊼						
㊽						
㊾						
㊿						

意思疎通問題なく

○：釧商業・白糠・阿寒
根室が、距離の壁を乗り越えて快勝した。全体練習は5回ほどしかしていないが、意思疎通は全く問題なし。昨年9月の秋季大会釧根支部予選で、代表決定戦に挑んだ戦友もいるチームの絆は固い。初回の2点適時打を含め、2安打3打点と活躍した伊藤慶一（白糠3年）は「これほど打てたことはない。勝つてよかった」とほっとした表情。七回無失点と好投した先発武田礼（阿寒3年）は「ストライク先行で、しっかり組み立てられた」と手応えを示した。準決勝で当たる武修館については「挑戦者として立ち向かう」と抱負。佐林監督も「失策ゼロで戦えたのは自信になる。強い相手に動じずに戦いたい」と語った。

・白糠・阿寒・根室が開幕戦で勝利を飾った。初回、相手先発の不安定な立ち上がりと、守備の乱れを攻め、ノーヒットで先取点を奪う

と、5番伊藤の右前適時打で2点を挙げて好発進。さらに二回にも2番樋口の中前適時打で1点追加し、優位に立った。無失策の守備でリズムをつくり、主導権を握り続

Aブロック	武 館	18日 11:30
	銅・商業・白糠 阿・寒・根室	9-0
	霧 多 布	21日 10:00
	中 標 津	4-0
	釧 江 南	18日 14:00
Bブロック	別 海	
	釧 北 陽	19日 10:00
	羅 白	7-0
	釧 明 輝	21日 12:30
	湖 陵	18日 9:00
	厚 岸 翔 洋	19日 12:30

けると、五回に3点、六回に無失点で抑えきった。

霧多布は、主将の中田貴
2点を奪つて一氣に引き離
し、試合を決めた。投げては
先発武田が緩急を付けたピ
ッチングで好投。七回、被安
打2、奪三振9、与四死球0、
膝を折つた。